

# 한통련 뉴스레터

제105호

発行:在日韓国民主統一連合(韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284

メール [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org)

ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方は [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org) までご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

## 정세 情勢

### ●憲裁、全員一致で尹錫悦罷免を決定…主権者・市民の勝利…終わりではなく始まり



罷免決定に歓喜の声をあげ勝利の行進をする韓国市民

#### 憲裁全員一致で罷免決定

韓国の憲法裁判所(憲裁)は4月4日、昨年12月の「非常戒厳」宣言で国会から弾劾訴追された大統領・尹錫悦(ユン・ソンニョル)に対し、裁判官8人が全員一致で罷免する決定を宣告した。尹錫悦の違憲・違法行為

は断罪され、尹錫悦は即刻、大統領職を解かれた。

憲裁は尹政権の政策が野党多数の国会によって実現を阻まれていた事情に一定理解を示す一方で、「これは民主主義の原理に従って解決すべき政治問題」だと指摘。「軍と

警察を動員して国会などの憲法機関をき損し、国民の基本的な人権を侵害し、憲法守護の義務を投げ捨てた」として、「国民の信任に背いたものであり、憲法守護の観点から容認できない重大な違法行為」だと指弾した。

また「非常戒厳」宣言を必要とする緊急事態は発生していなかったとして、「(過去の軍事政権による) 国家緊急権乱用の歴史を再現し、国民を衝撃に陥れ、社会・経済・外交の全分野に混乱を引き起こした」と指摘。「罷免によって得る憲法守護の利益は、罷免による国家的損失を圧倒するほど大きい」と強調した。

憲法と公職選挙法の規定では、大統領の罷免が決まった翌日から60日以内に大統領選挙を実施することになっている。次期大統領選の投票日は6月3日の火曜日に決定した

## 広場と野党、韓統連、罷免決定を歓迎

罷免決定に対し、与党「国民の力」臨時執行部トップの権寧世(クォン・ヨンセ) 非常対策委員長は、「残念だが、国民の力は憲裁の決定を重く受け止め、謙虚に受け入れる」とする立場を表明した。

第1野党「共に民主党」の李在明(イ・ジェミョン) 代表は国会で立場を表明し、「偉大な国民が偉大な民主共和国、大韓民国を取り戻した」と述べた。

1700以上の市民社会団体で構成する「尹錫悦即刻退陣・社会大改革 非常行動」(非常行動) は立場表明(別掲)を通じて、「内乱首謀者の罷免は主権者・市民の勝利」だとし、「内乱勢力を断罪して内乱を終息させ、主権者・市民の力で社会大改革を完成しよう」と訴えた。

韓統連の宋世一(ソン・セイル) 委員長は声明(別掲)を通じ、「憲裁の罷免決定を支

持・歓迎する」としながら、内乱勢力の清算・憲政秩序守護・民主政権樹立・社会大改革の課題をあげ、そのための民主連合戦線の構築を主張した。韓統連は4日夕刻、東京のコリアンタウン新大久保で街頭宣伝するなど、宣伝ビラ(ホームページ掲載)を活用し尹錫悦罷免決定を全国で宣伝・広報した。

## 尹錫悦、罷免承服せず

尹錫悦は4日の罷免決定後、「期待に応えられず、あまりにも残念で申し訳ない」とし、「これまで韓国のために仕事をするのができ、とても光栄だった」とする国民向け談話を発表した。

6日には、自身の支持団体「国民弁護人団」に対し、「若者の皆さんが勇気を失わない限り、わたしたちの未来は明るい」として、「わたしは大統領職から降りたが、いつも皆さんのそばを守る」とのメッセージを出した。

また4日午後5時から約30分間、大統領公邸で権寧世委員長ら与党執行部と面会し、「時間が多くないため、党を中心に大統領選の準備をしっかりと必ず勝利することを願う」と述べた。

これに対し、共に民主党は「内乱の首謀者がまた韓国を揺るがそうとしている」とし、「憲裁の決定に対する承服も、違法な戒厳に関する謝罪もない」と批判する論評を出した。

## 非常行動、「18次汎市民大行進」実施

非常行動は、1日午後9時から憲裁を取り囲みながら、「憲裁を包囲しろ！ 尹錫悦を罷免しろ！ 24時間徹夜集中行動」を展開。続けて、3日午後7時に「尹錫悦8対0(裁判官全員一致) 罷免のための最終大会」を開催し、その後、徹夜ろう城に入り、憲裁の発表を見守った。4日11時22分、憲裁

が罷免決定を発表すると、参加者は一斉に歓声をあげ、勝利の行進をした。

非常行動は、翌5日午後4時から、ソウル光化門で数万人の市民が参加する中、「尹錫悦即刻退陣！ 社会大改革！ 18次汎市民大行進」を実施した。

非常行動のパク・ソグン共同議長は代表発言で「尹錫悦罷免は終わりではなく、新しい始まりだ」とし、△極右内乱勢力の再執権を阻止する政権交代△内乱勢力清算と社会大改革実現という課題が残っていると強調した。

パク議長は△昨年12月3日、尹錫悦の「非常戒厳」宣言を市民の抵抗と国会の戒厳解除議決で阻止（第1段階）△14日、国会前で200万人が参加する大規模集会が開かれる中、国会で尹錫悦弾劾訴追案可決（第2段階）△南泰嶺と漢南洞（※）で集中行動を繰り広げ尹錫悦を逮捕・拘束・起訴（第3段階）△尹錫悦の法的脱獄（釈放）の危機に抗し非常行動指導部と市民による徹夜断食ろう城で反転攻勢し、憲裁裁判官の全員一致で罷免決定（第4段階）に至ったと、123日間の闘いを整理した。

尹錫悦弾劾審判国会弾劾訴追委員長のチョン・チョンレ国会法制司法委員長（共に民主党）はパク・ウンジョン（祖国革新党）、パク・ソノオン（共に民主党）訴追委員らと共に壇上にあがり、「内乱を擁護し、内乱を扇動し、内乱に加担した者を決して許してはならない」と強調した。

非常行動は社会大改革の12課題△市民が民主共和国の一員となる社会△正義の経済と民生が安定する社会△平和・主権・歴史正義が実現される社会△気候危機の克服と正義の生態系△すべての幸福な生のためのケア中心社会△良好な雇用と普遍的な労働権が保障される社会△生命・安全が守られ

る社会△すべての尊厳と共存のための性平等・人権社会△言論・情報通信・文化の公共性と表現の自由が保障される社会△食糧主権と食料が保障され地域がいかされる社会△教育と青少年の生に平等を開く社会△内乱の完全な終息と憲政秩序の回復を込めた宣言文を発表した。

### 再補欠選、「共に民主党」圧勝

再補欠選挙が2日に実施され、共に民主党が自治体首長選と広域・基礎議会選で1カ所（国民の力）を除いて全勝。また、全南・潭陽郡守（郡長）選で祖国革新党は初の自治体首長を誕生させ、釜山教育長選では一本化された進歩系候補が検事出身の親尹候補を破り当選した。

### 国会議長、改憲提案

禹元植（ウ・ウォンシク）国会議長（共に民主党）は6日、国会で記者会見を開き、次期大統領選と同時に憲法改定の国民投票を実施することを提案。「非常戒厳」と弾劾によって改憲への国民の共感が強まったと述べ、「3権分立を堅固にするための改憲」を呼び掛けた。

禹議長の提案に国民の力の権寧世委員長は賛意を表明し、「大統領弾劾を機に政治改革に対する国民の熱望が強まっている」と述べた。一方、共に民主党の李在明代表は、大統領の4年2期制導入、戒厳令宣布の条件の厳格化などの改憲の必要性には同意したが、今回の大統領選挙は与党を敗北させ、「内乱を終息させ民主主義を回復することが最優先課題」と述べ、反対の立場を明らかにした。

### 首相、憲裁裁判官を指名

大統領権限を代行する韓惠洙（ハン・ドク

ス) 首相は8日、10日後に任期が終わる憲裁の所長代行と裁判官の後任に、法制処の李完揆(イ・ワンギョ) 処長とソウル高裁の咸尚勳(ハム・サンフン) 部長判事を指名した。

これに対し、共に民主党は同日、内乱同調勢力による憲裁掌握の試みだと批判し、「権限争議審判や(効力停止を求める) 仮処分申請などの法的対応を検討する」と明らかにした。また韓氏が憲法に違反して権限を乱用したものであり、両名の指名は無効と主張した。

### 尹錫悦を再拘束し内乱勢力を清算しよう

憲裁が罷免決定を宣告しても、内乱首謀者・尹錫悦はこれを承服するどころか、支持勢力を扇動するようなメッセージを発し、「非常戒厳」に対する反省も国民に対する謝罪も一切ない。

与党「国民の力」の指導部は罷免決定後すぐさま尹錫悦を訪問し、同党が内乱勢力で

あることを一層明確にした。国民の力も尹錫悦と同様、反省も謝罪もなく、何ら責任を取ることもない。何事もなかったかのように平然と大統領選挙に乗り出そうとしている。政党にあるまじき行為と言わざるを得ない。さらには禹議長の改憲提案に便乗して、内乱勢力だとの批判・非難を避けながら戒厳クーデター事態の責任を政治改革の課題にすりかえようと躍起だ。

まさに、尹錫悦罷免は闘いの終わりではなく、闘いの新しい始まりである。検察と裁判所は尹錫悦を再拘束し内乱首謀罪で断罪するよう強く要求する。広場の市民と野党は、国民の力をはじめとする内乱勢力を徹底清算し、内乱勢力の再執権を阻止する政権交代を成し遂げ、社会大改革を実現する道に大きく進み出なければならない。闘いはこれからが正念場だ。

※「非常行動の立場表明」(後掲)を参照。

(2025年4月10日)

## 声明

### 憲法裁判所の尹錫悦に対する弾劾罷免決定を支持・歓迎する！ 内乱勢力清算・憲政秩序守護・民主政権樹立・社会大改革へと進もう！

韓国の憲法裁判所(憲裁)は4月4日、12.3戒厳クーデターを起こした尹錫悦(ユン・ソンニョル)に対し、裁判官8人の全員一致で弾劾罷免を決定し、尹錫悦はすぐさま大統領職を解かれた。憲政秩序を破壊した尹錫悦は断罪された。わたしたちは、憲裁の決定遅延がこの間、深刻な政治・社会的混乱を生んだことを批判した上で、尹錫悦を厳正に処断した憲裁の決定を全面的に支持し歓迎する。あわせて、尹錫悦の内乱首謀罪についても早急に厳罰が下されることを強く要求する。

憲裁の罷免決定は、「尹錫悦退陣・社会大改革 非常行動」を中心に結集した広場の市民と、「内乱終息・憲政守護 新しい大韓民国 円卓会議」を構成する5野党などによる連帯した闘いが、主権者・国民の圧倒的な支持を得ながら生み出したものである。

広場と野党は尹錫悦罷免を大きな成果としながら、次の課題に向けて前進しなければなら

ない。第1の課題は、内乱・反乱勢力を徹底して清算することだ。これまで韓国社会に巣くって来た内乱・反乱勢力は今回の事態でその本性をあらわにした。首謀者・尹錫悦を擁護してきた与党「国民の力」をはじめとする内乱勢力、内乱勢力と結びつき暴力で反乱を企図する極右勢力をそのままにしては、憲政秩序を守り抜くことはできない。

第2は、予定される大統領選挙で国民の力の執権を許さず、民主政権を樹立することである。ここで言う民主政権は単なる政権交代をこえ、新しい韓国社会をつくり出すための社会大改革を、広場の市民と共に積極的に推進し実現する政権を意味する。

第3の課題として、この二つの課題を実現するために、広場と野党による幅広い連帯で、内乱勢力清算・憲政秩序守護を共通綱領とする民主連合戦線を構築しなければならない。この間の共同闘争はその基盤となるはずだ。そして、国民の支持を背景にした民主連合戦線の圧倒的な力で、大統領選挙で内乱勢力の政権延長を阻止して民主政権を樹立し、内乱・反乱勢力を徹底清算しながら社会大改革を実現することが重要だ。

広場の闘いは「光の革命」と呼ばれている。光の革命を継続し、光復80年を迎える今年の8.15には、自主・民主・平和、そしてわたしたちの念願である統一を再び大きく掲げ、光り輝かせていかなければならない。そのために、わたしたちはさらに前進する決意だ。

2025年4月4日

在日韓国民民主統一連合（韓統連）

委員長 宋世一（ソン・セイル）

## [立場表明]尹錫悦罷免、民主主義の勝利だ 内乱を終わらせ社会大改革へと進もう

内乱首謀者・尹錫悦（ユン・ソンニョル）が罷免された。大韓民国を驚愕と恐怖に陥れた非常戒厳を宣言してから123日ぶりだ。憲法裁判所の全員一致で決定が出たが、もっと早く出なければならなかった。内乱首謀者・尹錫悦の罷免は主権者・市民の勝利だ。多くの市民の犠牲と民主抗争により培ってきた憲法と民主主義の力を再確認したものだ。

尹錫悦の12.3非常戒厳は要件も手続きも備えておらず、明らかに不法であり違憲である。布告令には違憲的な内容が満ちており、これを根拠にした国会封鎖も、憲法機関の中央選挙管理委員会を侵奪したこともすべて違憲・違法の措置だった。国憲をびん乱し暴動の内乱であった。さらには非常戒厳宣言のために戦争を意図し挑発したことまで確認された。

しかし、主権者・市民は軍隊と警察が動員された国会封鎖を自らの体で防いだ。汝矣島に200万市民が集まり国会の弾劾訴追案の可決を引き出し、南泰嶺と漢南洞（※）の闘いを通じて尹錫悦を逮捕した。尹錫悦が脱獄すると（※釈放されると）数千万の市民が光化門へと集まり、結局尹錫悦を罷免させた。

尹錫悦の罷免は終わりではなく始まりだ。まず尹錫悦と内乱一党に対する司法処理が厳重

に成されなければならない。内乱外患特別検察法の導入を含め外患容疑と警察・検察が内乱に加担したのかについての捜査も強力に進められなければならない。憲政をじゅうりんしたすべての犯罪者の末路がどうなったのか明らかに留めて、第2、第3の内乱を防がなければならない。

憲裁の尹錫悦弾劾審判の決定を妨害するために、憲裁の違憲決定にもかかわらず、裁判官任命を拒否した韓惠洙（ハン・ドクス、首相）と崔相穆（チェ・サンモク、経済副首相兼企画財政部長官）に対する法的政治的責任も問わなければならない。内乱を擁護し同調した与党「国民の力」に対して厳重な責任を問い、民主主義を脅かし暴動と混乱を助長した者たちに対する処罰も必要だ。さらに、4カ月間、憲法破壊を容認した憲法裁判所と内乱首謀者を釈放した検察・裁判所に対する強力な改革も必要である。

何よりも重要なのは、尹錫悦と内乱勢力が脅かした憲政秩序の弱点を補完し、内乱の再発を防ぐことだ。時代錯誤的な非常戒厳を憲法から削除しなければならない。憲法裁判所の無力化を防ぐための制度的補完も伴わなければならない。

主権者・市民が広場で叫んだのは、「尹錫悦罷免」だけではない。尹錫悦政権が退行させた改革の価値を復元し、人権と民主主義、平和と平等、生命と生態、ケアと労働が尊重される持続可能な社会のために社会大改革を完成しなければならない。諸政党も党利党略をこえて協力しなければならない。

この冬、広場に集まった応援棒と旗の精神をわたしたちは忘れることができない。内乱の終息と新しい社会のための市民の熱望を、わたしたちははっきり目撃し共に共有した。そして、いつの間にか春だ。芽吹く新芽の力で、冬の間広場を守った主権者・市民の力で社会大改革を完成しよう。この冬そうだったように、わたしたちは疲れ果てたりあきらめたりしない。

内乱首謀者罷免、主権者・市民が勝利した！  
内乱勢力を断罪し内乱を終わらせよう！  
主権者・市民の力で社会大改革を完成しよう！

2025年4月4日

尹錫悦退陣・社会大改革 非常行動

※漢南洞はソウル竜山区の行政区域で大統領公邸の所在地。民主労総の「尹錫悦を逮捕しろ！」との呼び掛けに集まった市民らが1月3～6日、3泊4日の徹夜ろう城闘争を雪降る厳寒の中で展開した。「漢南洞の闘い」と呼ばれる。

原文 <https://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=2131>

## 활동보고 活動報告

### ●都内で尾澤孝司氏への不当判決に抗議し集会開催…今後の日韓民衆連帯強化を確認



感謝のあいさつをする尾澤氏

「韓国サンケン労組を支援する会」（支援する会）と「尾澤孝司裁判を支援する会・埼玉」は3月28日、都内で「最高裁の上告棄却弾劾！ 未来へ！ サンケン弾圧・尾澤裁判 3.28報告集会」を開催。両会は本集会をもって解散した。

支援する会の渡邊洋共同代表（全労協議長）が主催者あいさつ。この間の闘争を慰労するとともに、引き続き日韓の労働者連帯を強化していく決意を語った。

これまでの闘争を映像で振り返った後、支援する会の大畑龍次氏が運動を総括。「尾澤氏の裁判は、日韓の連帯運動に対する明確な政治弾圧だったが、わたしたちは団結した力で立派に跳ね返した」と評価した。

尾澤氏からあいさつ。これまでの支援に感謝の意を述べ「弾圧と闘ってきた過程で日韓の民衆連帯は大きく成長した。これからも日系企業の横暴に苦しめられる韓国の労働者に連帯し、闘っていきたい」と語った。

弁護団からの報告後、韓国側から報告。韓国民主労総のキム・ウニョン慶南地域本部長が韓国情勢について「昨年12月の尹錫

悦（ユン・ソンニョル）による戒厳令は、野党と市民の闘いによって挫折した」とし、

「退陣運動では民主労総が先頭に立って民衆をけん引してきた。現在、民主労総に対する支持は急速に高まっている」と強調。「内乱勢力による抵抗が依然続いている。内乱勢力は建国以来80年、韓国を蝕んできたガンのような存在だ。いまこそ全力をあげて打倒し、韓国の社会大改革を推進していかなければならない」と語った。「裁判は終わったが、わたしたちが築いた連帯は未来への大きな財産だ。引き続き共に闘っていきましょう」と訴えた。

関係団体の連帯アピール後、「韓国オペイカル労組を支援する会」から特別アピール。同労組への支援を要請した。

支援する会の鳥井一平事務局長（中小労組政策ネットワーク事務局長）が閉会あいさつ。今後のさらなる闘争を誓い、参加者全員で団結ガンバローを唱和した。

翌29日にはキム本部長との交流会を開催。朝鮮半島情勢や今後の運動展開について論議した。



報告するキム・ウニョン本部長

## ●広島で韓国オプティカル労組支援活動…日東電工関連会社に抗議



日東電工に抗議する参加者

韓統連広島本部など韓国オプティカルハイテック労組（オプティカル労組）による日本遠征闘争に連帯した各団体は3月28日、日東電工の関連会社「日東電工ベースマテリアル広島営業所」前で抗議活動を展開した。

「韓国民衆に連帯する会」の久野成章氏は、争議の経緯と現状、日東電工の対応の間

題点、韓国労働者の正当な要求について解説。実国義範氏はオプティカル労組の遠征闘争について説明し、日東電工亀山工場での日系ブラジル人労働者の闘いについてアピールした。「スクラムユニオンひろしま」の柳由紀夫副委員長は日東電工が労組に対して損害賠償請求をかけてきたことを批判した。

広島本部の朴隆宏（パク・ユングァン）副代表委員は韓国情勢に触れながら、高空ろう城中の女性労働者2人の訴えを代読した。

アピールの他に、韓国の闘争歌や、踊りのパフォーマンスも披露し、日東電工の不当性を通行人に力強く訴えた。

朴副代表委員は活動を振り返り「通行中の韓国人旅行客からも好意的な反応があり、運動の広がりを感じる。これからも韓日民衆連帯の強化のため頑張っていきたい」と語った。

## ●大阪で韓日民衆連帯アクションを開催…尹錫悦罷免を要求



尹錫悦罷免を要求する参加者

韓統連大阪本部と韓青大阪府本部は3月29日、「尹錫悦（ユン・ソンニョル）罷免、退陣！ 韓国民衆とともに平和な新しい東アジアを作ろう！ 韓日民衆連帯アクション at つるはし」をJR鶴橋駅前で開催。韓統連、韓青、韓国人留学生、ウリ民主連合、

連帯勢力などが結集した。

参加者からアピール。韓青三重本部の安博輝（アン・パッキ）委員長は「尹大統領の罷免に終わらず、民主主義を守るため韓国社会の積弊勢力を一掃しなければならない」と訴えた。生野北支部の金和容（キム・ファヨン）委員長は「一人の力は小さいが、多くの人を集めれば巨大な力になる。一日も早く尹錫悦を罷免しよう」と強調した。韓国人留学生からは「韓国の民主主義は誰かに与えられたものではない。憲法裁判所は早く尹錫悦大統領を罷免してほしい」と語った。

大阪本部の金昌範（キム・チャンボム）代表委員が閉会あいさつ。「戒厳令を阻止したのは、韓国民衆の成長した運動の力であり、

尹錫悦をはじめとした極右勢力は、自らの基盤を失う危機感から、ありとあらゆる妨害を尽くしている。憲法裁判所の最低限の良識を信用するならば、判決は当然罷免となるだろう。これからも引き続き韓国の民主主義の前進と朝鮮半島・東アジアの平和

のために闘っていこう」とアピールした。

参加者全員で「尹錫悦を罷免しろ」「『国民の力』を解体しろ」とコールを続け訴えた。

大阪本部は4日4日にも連帯アクションを展開。罷免決定を知らせるとともに、新政権がより民主的な政権となるよう訴えた。

## ●韓統連・韓青が都内で宣伝活動…尹錫悦罷免を歓迎



参加者でプラカード・アピール

韓統連と韓青は4月4日、東京のコリアタウン新大久保で「尹錫悦(ユン・ソンニョル) 罷免歓迎! 社会大改革推進! 新大久保宣伝活動」を展開した。参加者は「尹錫悦罷免歓迎」「内乱勢力清算」「社会大改革推進」のプラカードを掲げ、罷免を知らせる宣伝ビラを通行人に配布した。

参加者からアピール。韓青中央本部の韓成祐(ハン・ソンウ)委員長は「韓国の憲法裁判所が全員一致で尹錫悦罷免を決定した。尹錫悦は昨年末の非常戒厳令宣布によって韓国の民主主義を破壊した。罷免は当然だ」と強調。「尹政権によって南北関係は完全に破綻し、経済も崩壊した。これからは尹政権によって失ったものを取り戻し、祖国の平和統一への道を切り開いていきたい」と語った。

社会民主党の福島みずほ党首、写真家の伊藤孝司氏から連帯メッセージが送られ、韓統連会員の李香代子(イ・ヒャンデジャ)

氏が代読した。

会員の申久江(シン・クガン)氏は「戒厳令宣布の日、市民は素手で武装した軍隊に立ち向かい、戒厳を阻止した。韓国には戒厳と闘ってきた歴史がある」「数百万人の市民の力が、憲法裁判所の全員一致判決を後押ししたと思う。韓国社会は今日からさらに、人間が人間らしく生きていくことができる社会へと前進していきましょう」と語った。

宋世一(ソン・セイル)委員長は「裁判所による尹錫悦の不可解な釈放、極右勢力の暴力的な抵抗など、反乱勢力の最後のあがきによって韓国社会は動揺したが、憲法の砦である憲法裁判所が、最後は毅然と内乱首謀者を処断した」「この間『尹錫悦即刻退陣・社会大改革 非常行動』が野党と連帯し、闘争の中心となって広場の市民と共に立派に闘いぬいた。今日の勝利は主権者である国民の偉大な勝利だ。これから韓国の民主主義のさらなる発展にむけて前進していきたい」と語った。

李俊一(イ・チュニル)事務長が閉会あいさつ。「日本では今回の罷免で韓日関係が悪化するとの報道があるが、実際は正反対だ。尹錫悦によって韓米日軍事同盟化が進められ、過去の歴史問題が棚上げにされた。わたしたちにとってこの間の韓日関係は最悪だった」と強調。「今年は光復80年の節目の年だ。親日派の残党を退場させ、過去清算の課題を解決していきたい」と語った。

韓統連は当日、声明（別掲）を公表。尹錫悦罷免を歓迎するとともに、社会大改革の

推進を求めた。

### ●韓統連京都再建委員会がセミナーを開催…金昌五副委員長が講演



講演する金昌五副委員長

韓統連京都本部再建委員会は4月6日、京都市内で韓統連京都セミナーを開催した。

李勝熙（イ・スンヒ）京都本部再建委員長が主催者あいさつ。「尹錫悦（ユン・ソンニョル）罷免が先延ばしになっていたが、待望の全員一致で罷免決定が出た。日本では偏向した報道が続いているが、今回のセミナーで情勢を正しく認識し、京都本部再建にむけて前進していこう」と語った。

韓統連の金昌五（キム・チャンオ）副委員長が「光復80年 韓国大統領選挙とわたしたちの課題」と題し講演。

金副委員長は12.3戒厳事態から罷免決定までの経緯について「数々の失政と退陣運動の拡大によって追い込まれた尹錫悦は、反対勢力を除去し、自分の意のままにできる新たな立法機関をつくろうと戒厳令を宣布した。しかし野党の迅速な対応と、国民の体を張った闘いによって戒厳は失敗し、弾劾決議から逮捕、そして今日の罷免に至った」と解説した。「韓国ではこれまで18回戒厳令が出されたが、はじめて市民が戒

厳に打ち勝った。歴史的な快挙と言える」と強調。「憲法裁判所による判決の遅れの背景として、内乱勢力の反撃があげられる。勝利に気持ちを緩めず、野党・市民が一体となって内乱勢力を清算し社会大改革を推進していかなければならない」と語った。

また、光復80年を迎える今年の課題として過去清算問題の解決に言及。「歴史問題を解決し、韓米日軍事同盟化を阻止することによって、平和への道は開かれていく。韓国に自主的民主政府を樹立し、平和外交を進めることによって南北対話の再開の可能性も広がっていくだろう。わたしたちの力で解放80年の光復節を、統一と平和の祝典へとつくり上げていこう」と訴えた。

李再建委員長が京都本部再建にむけた計画を提示し、参加者の協力を要請。

参加者全体で「尹錫悦罷免歓迎」「内乱勢力清算」「社会大改革推進」のプラカード・アピールを展開した。



参加者によるプラカード・アピール

# 행사예정 行事予定

4月

## 第28回統一マダン神戸プレイベント(兵庫)

日時: 4月27日(日) 午後1時30分受付、2時開始 場所: 兵庫区文化センター 講習室 内容: 「ペンライトが照らす韓国の未来」(講師: 李俊一(イ・チュニル) 事務長) 参加費: 1000円 主催: 同実行委員会 連絡先: 090-5016-6352 (李)

5月

## 第28回統一マダン神戸(兵庫)

日時: 5月11日(日) 午前11時~午後3時30分 場所: キャナルタウン広場 内容: 舞台出演(神戸朝鮮歌舞団、川口真由美さん、きむ・きがんさん、三田太鼓、沖縄エイサー、K-POPダンスなど)、屋台(韓国朝鮮料理、インドカレー、ギリシャ料理など)、統一川柳 参加費: 無料 主催: 同実行委員会 連絡先: 090-1242-3981 (李)

## 韓統連三重セミナー

日時: 5月11日(日) 午後3時開始 場所: MG四日市 内容: 木本事件・紀州鉾山について(講師: 竹本昇さん(ハンクネット代表)) 参加費: 無料(交流会費別) 主催: 三重本部 連絡先: 080-5112-6876 (丁)

## 第21代大統領選挙 在外投票のお知らせ

尹錫悦(ユン・ソンニョル) 罷免により、次期大統領選挙が6月3日に実施されることになりました。大統領選挙には韓国国籍を保有する在外同胞も投票できます。

投票には、事前に選挙人登録が必要です。今回はじめて投票する方は、必ず4月24日までに各地方の韓国領事館などで選挙人登録をしてください。

※すでに選挙人登録を行っている方は、「永久名簿登録」されているため、新たに登録する必要はありません。ただし、これまでに2回以上続けて在外投票していない場合は、名簿から抹消されるため、改めて登録が必要です。

在外選挙申告・登録申請期間 2024年2月11日~2025年4月24日

在外選挙投票期間 2025年5月20日~2025年5月25日

※国内投票日は2025年6月3日。即日投開票

詳細は選挙管理委員会ホームページをご覧ください。 <https://ova.nec.go.kr/cmnm/main.do>

編集後記

ついに尹錫悦(ユン・ソンニョル) 罷免が決定しました! 当日は手に汗を握りましたが、韓統連では一昨年の光州全国集会から尹錫悦退陣を掲げ闘ってきたこともあり、ひときわ達成感がありました。みなさま本当にスゴハシヨッスムニダ(お疲れ様でした)。これからも頑張っていきましょう! (李)